

### 第3回認定こども園のあり方を考えるワークショップを開催しました。

8月19日（土）に第3回ワークショップを開催しました。

第1回の「望ましい保育環境」「小学校までに身につけてほしい力」、第2回「現在のこども園の長所・短所」をふまえ、第3回では、「立地・建物の条件」について、話し合いました。

	こども園の『立地』 の条件	『津波浸水想定区域外』 を前提とすること	『1園に統合』を前提と すること
A班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園がしやすい</li> <li>・津波、洪水、土砂災害の心配がない</li> <li>・防犯面の心配がない</li> <li>・騒音がない</li> <li>・地域や小学校と交流ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成。しかし、現状場所がないので、区域内も「可」とする</li> </ul>	賛成（場所が課題であるけれども）
B班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15m以上の高台</li> <li>・川をまたがない</li> </ul>	賛成	どちらとも言えない（1年生の壁等を考えると）
C班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害はイエローゾーンまで</li> <li>・町有地</li> <li>・住宅地に近い</li> <li>・自由に遊べる環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（津波浸水区域内であっても）地域住民が避難できる建物</li> <li>・園にいない時間のほうが長いので、その時間も考慮すべき</li> <li>・地域住民の近くに強固な建物を</li> </ul>	賛成（既存の建物は危険、子どもの人数が多い方が良い）
D班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷をさける</li> <li>・通園が安全</li> <li>・バスが通れる道</li> <li>・子どもが多い地域</li> </ul>	賛成	賛成（安全な場所に早く統合を）

第4回に向け、「候補地」を探す宿題が出されました。